

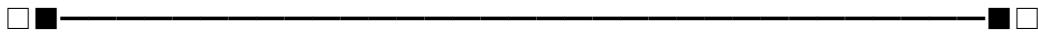


:。 *

:*:☆: 大阪府細胞検査士会 メールジャーナル

*.: * 2023年10月号

∴*:☆:。



:☆★:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*

【目次】

◆ 1 <お知らせ>

◆ 2 <会員コラム>

大阪南医療センター 臨床検査科
原田 和弥

◇ 編集後記

深田 知也

:★☆:★☆*:★☆*:★☆*:★☆*:★☆*:★☆*:★☆*:★☆*:★☆*:★☆*:★☆*



☆ ~~~~~

★ ◆ 1 <お知らせ>

☆ ~~~~~

★ 1) 令和5年 ワークショップ（大阪府細胞検査士会主催）のお知らせ

☆ 2) 病理細胞診特別講習会 (大臨技主催) のお知らせ

★ 3) (再掲) 第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会 (日本臨床学会主催) のお知らせ

1) 令和 5 年 ワークショップ (大阪府細胞検査士会主催) のお知らせ

日時 : (講義) 令和 5 年 11 月 25 日(土) 13:30~15:30

(実習) 令和 5 年 11 月 26 日(日) 10:00~13:00

場所 : (講義) Webex によるウェビナー開催

(実習) 大阪医科大学 講義実習棟 3 階 大実習室

参加費 : (講義のみ) 無料

*大阪府細胞検査士会会員にはクレジット付与、非会員には付与いたしません

(実習あり) 1,000 円

定員 : (講義) なし / (実習) 50 名

プログラムや申し込み方法の詳細につきましてはお手数ですが、当会 HP をご参照ください。

<https://www.osaka-cytology.com/cont8/main.html>

2) 病理細胞診特別講習会 (大臨技主催) のお知らせ

今回は骨軟部腫瘍の細胞診・組織診断についてご講演いただきます。腫瘍分類が多岐にわたる一方、日ごろ目にする機会の少ない領域ですので貴重な勉強の機会となります！Zoom による Web 講習会ですので、自宅や職場から視聴可能です。皆様奮ってご参加ください！！

内容 : 講演 1 : 骨軟部腫瘍の細胞診断

神戸大学医学部附属病院 病理部 副技師長 塚本 龍子 先生

講演 2 : 骨軟部腫瘍の病理診断

京都府立医科大学附属病院 病院病理部 病院教授 小西 英一 先生

生

日時 : 2023 年 11 月 24 日 (金) 18 : 30~20 : 30 (受付 18 : 15~)

会場 : Web 開催 (Zoom を用いたライブ配信)

評価点： 専門教科：20 点、細胞検査士クレジット（申請中）

参加費： 大臨技会員または日臨技会員 500 円（日臨技生涯教育推進研修会のため日臨技のみも会員です）

地臨技のみの会員、その他 1,000 円

定員： 200 名（先着順）定員になり次第終了します。

申込期間： 2023 年 11 月 3 日（金） 15：00～11 月 18 日（土） 0：00

申込方法： 大臨技病理細胞検査部門 病理細胞診特別講習会（WEB 講習会）

2023/11/24(金) 18:30 ～ 2023/11/24(金) 20:30 Zoom 開催

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02ht564ee8b31.html>

3) (再掲) 第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会（日本臨床学会主催）のお知らせ

日時： 2023 年 11 月 4 日（土）、5 日（日）

会場： 福岡国際会議場、福岡サンパレス

最新情報・詳細は下記リンク先をご参照ください。

<https://www.congre.co.jp/jsc62atm/>

★ ~~~~~

☆ ◆ 2 <会員コラム>

★ 「技術と AI」

☆ ~~~~~

★ 大阪南医療センター 臨床検査科
原田 和弥

一年の中でも過ごしやすい季節と相成りました。皆様におかれましてはいかがお過ごし

になられていますでしょうか？私は秋から冬にかけての涼しさがとても好きなのでこの期間が長く続いて欲しいです。

さて話は変わりますが私は新しいものが好きで学会などで知識のアップデートや日常ふと思いついた新しい試み、世間で話題のことなど気になると調べたり実際に使ったりします。そんな私が最近気になっていたことが AI です。昨今 ChatGPT なるもので AI に質問や文章を書いてもらう作業がスマートフォンでも行えるようになってきているため実際に試してみました。「細胞について面白い話をして」と AI に聞いたところ最も小さい細胞は *micromonas pusilla* という緑藻で直径が 0.8 ミクロメートルしかありません！と出ました。真偽について調べてみたところ 2 μ m 未満であり、既知の単核細胞生物で最小（かもしれない）という結果に至りました。なお調べる過程で入手した新たな知識ですが世界最小の多細胞生物はシアワセモという名で 4 細胞性と最も細胞数が少なく、2 億年前から存続している生きた化石だそうです。「細胞の小話をして」と聞くと赤血球、白血球、神経細胞、筋肉細胞、皮膚細胞たちの会話による寸劇が小説形式で出力されました。このようにとても有益で信頼のできる情報が入手できるかと問われれば否、情報を再確認、それに付随して得られる知識など話題作りに使うにはとても面白く有用なツールだと考えます。

昨今 AI の技術進歩が目覚ましく近い将来 AI が自律的に学習や進化を行い、人類を超えて成長するという話もあります。もしそんなことになったとしても映画「ターミネーター」の世界ではなく「アイロボット」のように感情や心を持った AI と共存していく明るい未来になってほしいですね。ともあれ、まずは AI に負けないよう技術を磨きやはり人の目が一番だと思われる細胞検査士を目指してこれからも新しい技術や学問に興味を持ちつつ日々自分を磨いていきたいと考えている所存です。

◇◇ 編集後記 ◇◇

深田 知也

10 月に入り急に肌寒くなりましたが、みなさま体調管理にはお気を付けください。10 月上旬はカメムシの大量発生に悩まされた方も多いのではないのでしょうか。そんなカメムシですが地方によっていろいろな呼び方があるようで、「ワクサ」や「ヘコキムシ」、「ハウムシ」、「ジョンソン」など呼び方は様々。ん？・・・「ジョンソン」！？なんじゃそりゃな呼び名ですが兵庫県のある地方ではそう呼んでいるそうです。そんなわけで、来年は大量発生するなよ！ジョンソン！

2023年10月20日

※メールジャーナル登録アドレスの変更や問い合わせ等につきましては、下記メールアドレスへご連絡ください。

osakactshomubu@gmail.com

※メールジャーナル関係以外の問い合わせにつきましては、大阪府細胞検査士会事務局あて下記メールアドレスへご連絡ください。

osaka-kensashi@osakacity-hp.or.jp